

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、
県内への誘客を促進し、観光産業を振興します。



県内宿泊客増加に向けた 観光の振興

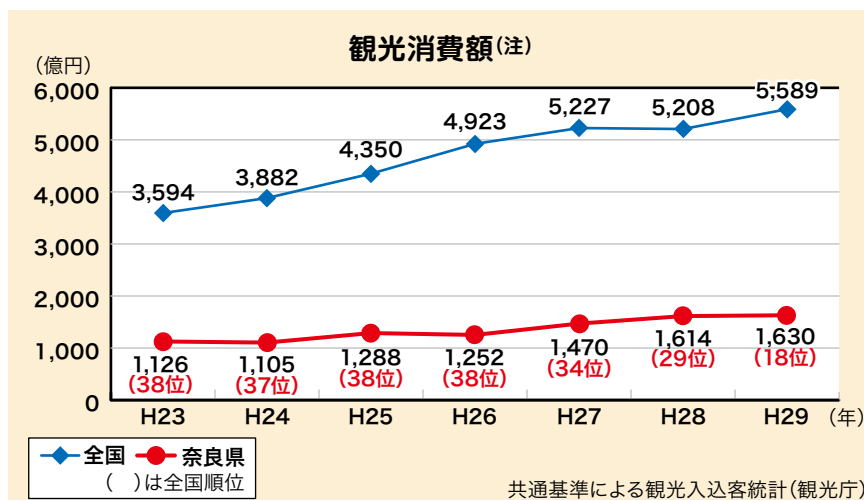
主担当部局：観光局



ジャポニスム2018における神事芸能の披露(フランス)

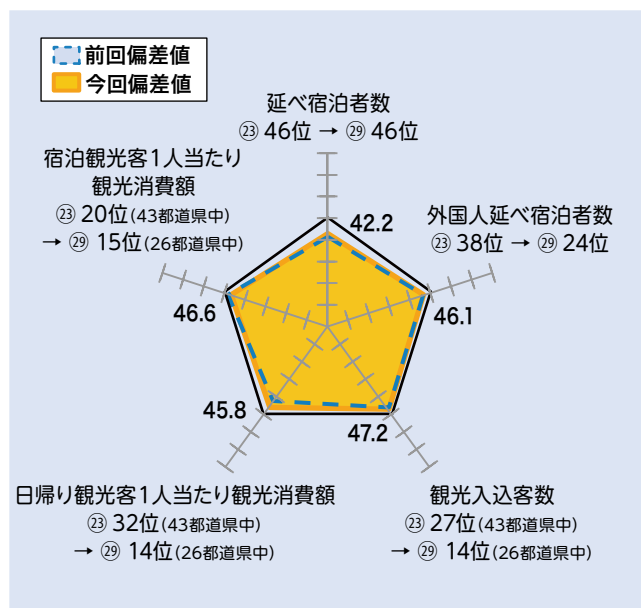
◆ 目指す姿

平成31(2019)年までに、**観光消費額を1,900億円**にします。

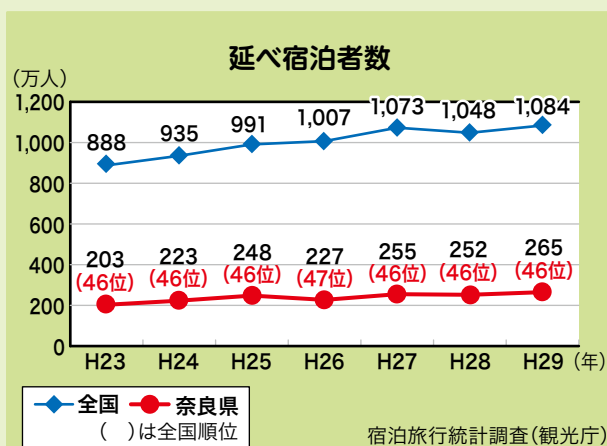


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

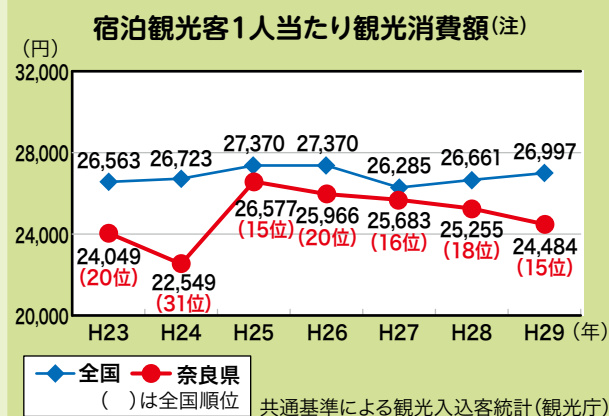
《 現状 》



《 トレンド 》

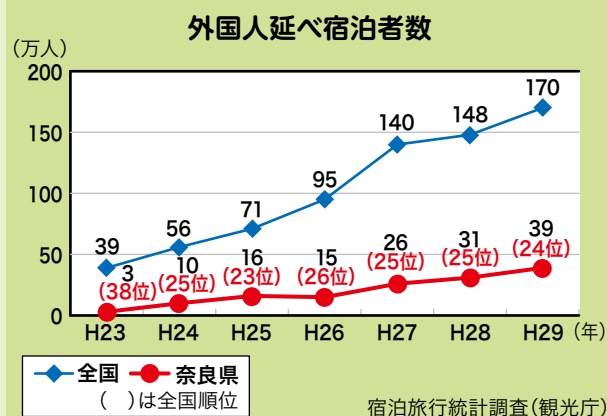


平成29年の延べ宿泊者数は、平成23年に比べ増加しましたが、依然として全国平均より低い状況が続いています。

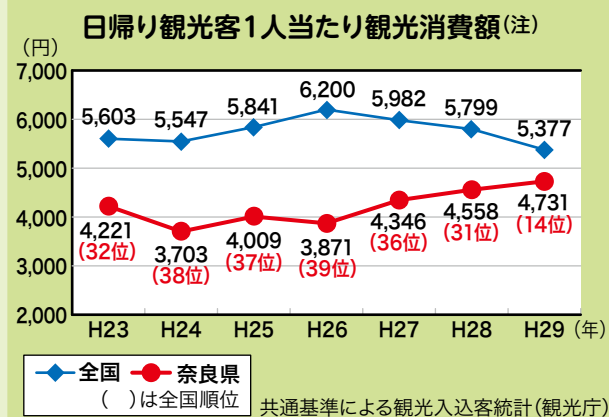


(注)平成30年12月末時点

平成29年の宿泊観光客1人当たり観光消費額は、平成23年に比べ増加しましたが、依然として全国平均より低い状況が続いています。

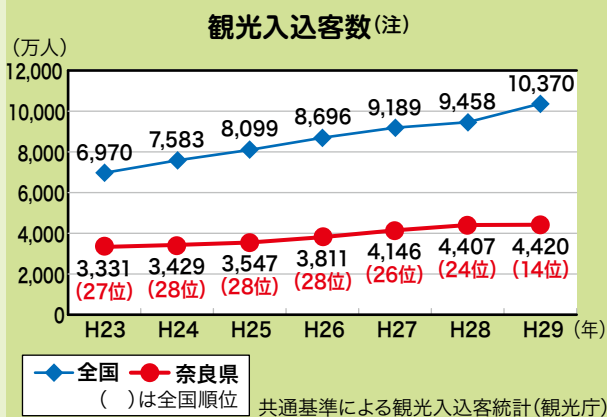


平成29年の外国人延べ宿泊者数は、平成23年に比べ増加しましたが、依然として全国平均より低い状況が続いています。



(注)平成30年12月末時点

平成29年の日帰り観光客1人当たり観光消費額は、平成23年に比べ増加しましたが、依然として全国平均より低い状況が続いています。



(注)平成30年12月末時点

平成29年の観光入込客数は、平成23年に比べ増加しましたが、依然として全国平均より低い状況が続いています。



戦略 1

意欲ある宿泊施設の取組を支援するとともに、誘致に向けた取組を強化し、
宿泊施設の質と量を充実させます。

● 主担当課：観光局 インバウンド・宿泊戦略室

◆ 戦略目標

延べ宿泊者数

255万人
平成27(2015)年



目標
280万人
平成31(2019)年

県内宿泊施設の客室数

9,051室
平成27(2015)年度



目標
10,000室
平成31(2019)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
上質な宿泊施設の整備	大宮通り新ホテル・交流拠点の整備工事	にぎわいの創出 ● 開業	
	吉城園周辺・高畑町裁判所跡地の整備・活用促進		
	融資制度等による創業・設備充実支援		
多様なニーズに応える宿泊施設の整備	良質な民泊サービスの推進		
	古民家の活用や農家民宿等体験のできる宿泊施設の整備		



高畑町裁判所跡地の整備後イメージ(奈良市)



農家民宿の室内(御杖村)



戦略 2

外国人観光客の受入環境の整備を進めるとともに、「食」「宿泊」「土産物」についての観光客の満足度の向上を促します。

● 主担当課：観光局 ならの観光力向上課

◆ 戦略目標

宿泊観光客の1人当たり観光消費額

25,683円
平成27(2015)年

目標
28,000円
平成31(2019)年

日帰り観光客の1人当たり観光消費額

4,346円
平成27(2015)年

目標
5,000円
平成31(2019)年

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
滞在環境の快適性の向上	多言語コールセンターの運営、キャッシュレス決済・トイレの洋式化の整備促進、宿泊施設等へのWi-Fiスポットの設置促進		
奈良の食文化のブランド化とその展開	奈良フードフェスティバルの開催、南部地域・東部地域におけるオーベルジュの整備支援		
外国人観光客が円滑に移動できる環境整備	ユニバーサルデザインタクシーの導入促進、バスロケーションシステム等の整備促進		



奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)での案内対応(奈良市)



2018シェフェスタin馬見(馬見丘陵公園)



戦略3

歴史文化資源を活用した観光資源の開発に取り組み、奈良の魅力をより一層向上させます。

● 主担当課：観光局 奈良の観光力向上課

◆ 戦略目標

観光入込客数

4,146万人
平成27(2015)年



目標
5,000万人
平成31(2019)年

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
歴史・文化資源の 整備・活用	平城宮跡、藤原宮跡等の整備・活用促進		
	なら歴史芸術文化村の建築工事等		開村
	奈良の仏像海外 展示の実施等	日本文化の紹介・文化遺産修復 研修の実施	



平城京天平祭(春)(平城宮跡)



古事記朗唱大会(奈良市)



戦略4

オフシーズンの宿泊観光客を増やすため、イベントをさらに発展・充実させるとともに、新たな冬の周遊型観光の展開を図りながら、観光消費に繋がる誘客を促進します。

● 主担当課：観光局 観光プロモーション課

◆ 戦略目標

オフシーズン（12月～2月、6月・7月）
延べ宿泊者数

80万人
平成27(2015)年



目標
105万人
平成31(2019)年

「うまし奈良めぐり」商品販売人数

3,458人
平成27(2015)年度



目標
9,800人
平成31(2019)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
四季を通じた文化・スポーツイベントの展開	奈良大立山まつり等誘客イベントの充実		
	ムジークフェストなら等特色ある文化イベントの充実		
	奈良マラソン等スポーツイベントを活かした滞在型観光の促進		
体験メニューの充実	うまし奈良めぐりの商品造成、社寺の特別公開（「祈りの回廊」）等の充実		



「奈良大立山まつり」での伝統行事の披露（平城宮跡）



「うまし奈良めぐり」による特別拝観（室生寺）



戦略5

インバウンド誘客の地力をつけることを中心に、観光誘客の強化、県域全体への周遊・滞在型観光の推進に取り組めます。

● 主担当課：観光局 観光プロモーション課

◆ 戦略目標

外国人訪問客数

103万人
平成27(2015)年



目標
240万人
平成31(2019)年

外国人延べ宿泊者数

26万人
平成27(2015)年



目標
45万人
平成31(2019)年

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
外国人目線に立った情報発信	SNS等を活用した奈良の魅力の発信		
	主要駅等における奈良県観光キャンペーンの実施		
MICE(注)の誘致競争力の強化	奈良らしいユニークなMICEの創出・発信、受入環境の整備		

(注)MICE…企業等の会議(Meeting)、企業の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称



フランス人ブロガーによる氷浴体験取材(川上村)



国際コンベンションの開催(奈良市)



興福寺中金堂落慶法要(奈良市)



奈良県観光キャンペーン首都圏シンポジウム(東京都)



若草山焼き(奈良市)

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、
県内への誘客を促進し、観光産業を振興します。



質の高いイベントの実施と 県の文化力の向上

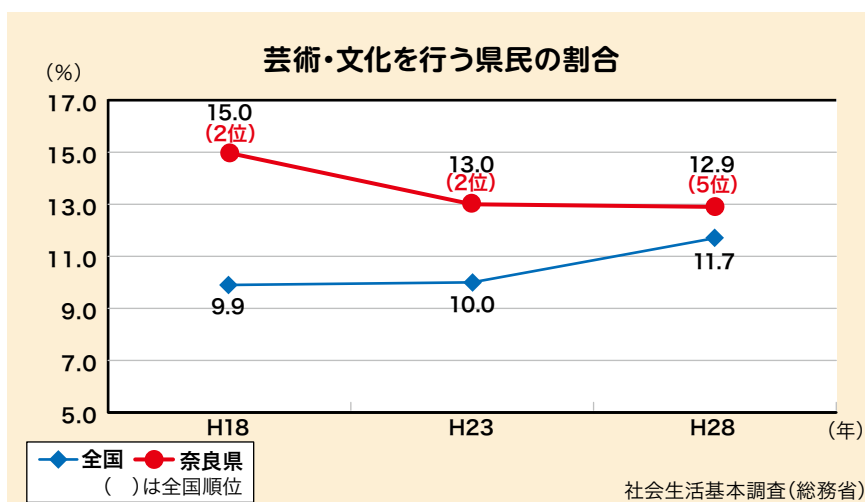
主担当部局：地域振興部



奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭「オープニングフェスティバル」(五條市上野公園総合体育館)

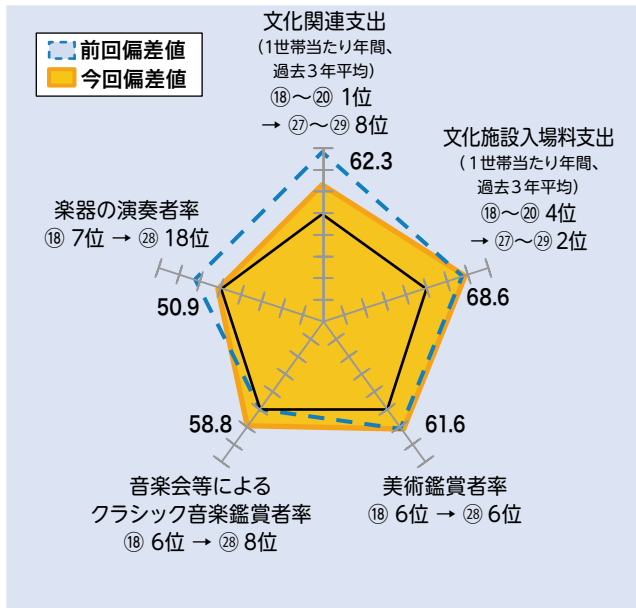
◆ 目指す姿

平成33(2021)年度までに、**芸術・文化を行う県民の割合**を**全国1位**にします。

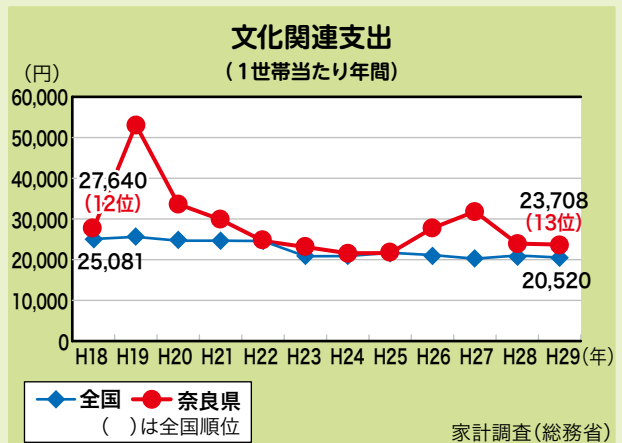


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

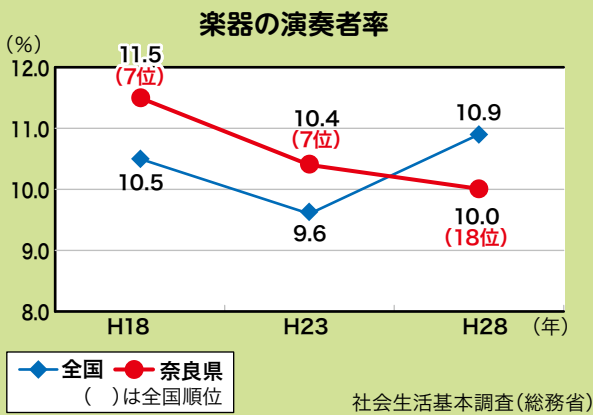
《 現状 》



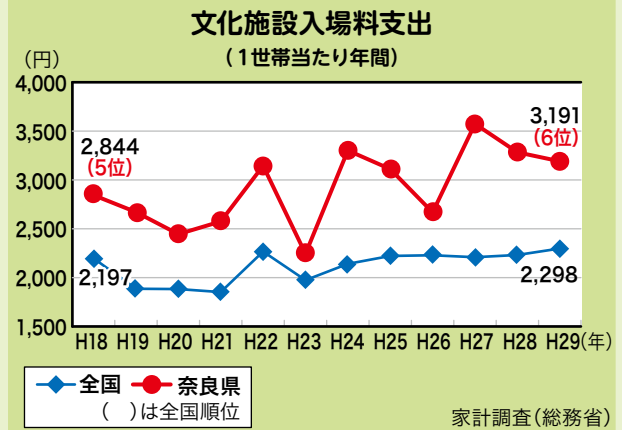
《 トレンド 》



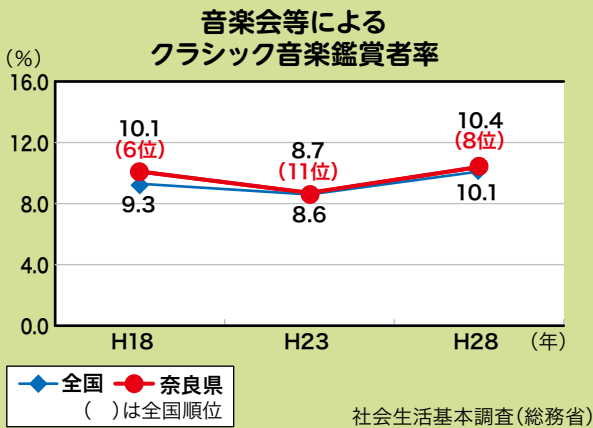
平成29年の文化関連支出(1世帯当たり年間)は、平成18年と比較して3,932円減少していますが、全国平均を上回っています。



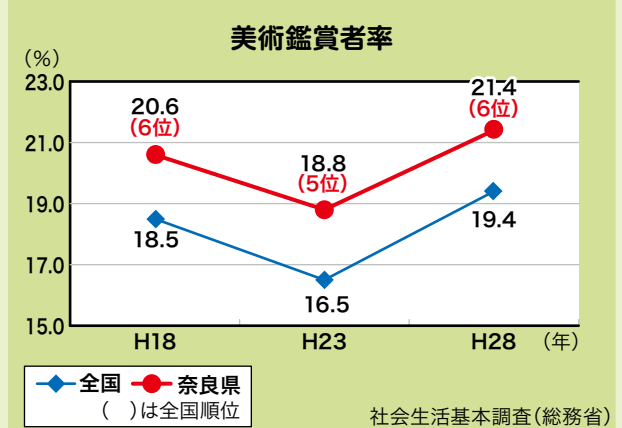
平成28年の楽器の演奏者率は、平成18年と比較して1.5ポイント低下しており、全国平均を下回っています。



平成29年の文化施設入場料支出(1世帯当たり年間)は、平成18年と比較して347円増加しており、全国平均を大きく上回っています。



平成28年の音楽会等によるクラシック音楽鑑賞者率は、平成18年と比較して0.3ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。



平成28年の美術鑑賞者率は、平成18年と比較して0.8ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。



戦略 1

芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。

● 主担当課：地域振興部 文化振興課

◆ 戦略目標

奈良県大芸術祭及び奈良県障害者大芸術祭のイベント催事数

808 催事
平成29(2017)年度

目標

800 催事
以上を維持
平成33(2021)年度

県民アンケート調査における「ムジークフェストなら」の周知度

21.9%
平成26(2014)年度

目標

55.0% 以上
平成33(2021)年度

県民アンケート調査における文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合

49.0%
平成28(2016)年度

目標

55.0%
平成33(2021)年度

県民アンケート調査において、観光やレクリエーションのために県内各地を訪問する目的を「美術鑑賞・展覧会等、演劇・コンサート鑑賞」とする県民の割合

11.1%
平成28(2016)年度

目標

15.0% 以上
平成33(2021)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
奈良県大芸術祭及び奈良県障害者大芸術祭の一体開催	障害の有無に関わらず、互いに交流を深め、共に楽しめるイベントの開催		
「ムジークフェストなら」の開催	社寺等の歴史文化遺産を会場にクラシックコンサートを中心とした音楽イベントの開催		
県立ジュニアオーケストラ活動の充実	クリスマスコンサート・定期演奏会での演奏の実施		
県立美術館特別展の開催	「ヨルク・シュマイサー」等の開催	魅力的な特別展の実施	



ムジークフェストなら2018(當麻寺)



奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭
創作ワークショップ「どうぶつスタジオ」(奈良市)



戦略 2

歴史を通して、県民の文化への理解を深めます。

● 主担当課：地域振興部 文化資源活用課

◆ 戦略目標

県立文化施設の来訪者数

132万人
平成25(2013)年度

目標 → 136万人
平成31(2019)年度

県民アンケート調査における文化に対する 県民の満足度(文化遺産や史跡が大事にされること)

3.58ポイント
平成28(2016)年度

目標 → 3.50ポイント
以上を維持
平成33(2021)年度

県民アンケート調査において、住みたい理由を
「世界遺産や文化財等が多く、歴史的な
雰囲気を感じるから」とする県民の割合

35.9%
平成28(2016)年度

目標 → 40.0%
平成33(2021)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
歴史文化資源の整備・ 活用の推進	文化財等の活用と支援、県立歴史関連施設における企画展やイベント等の実施		
	なら歴史芸術文化村の建築工事等		開村
記紀・万葉プロジェクト・ 聖徳太子プロジェクトの推進	なら記紀・万葉・日本書紀完成1300年 関連イベントの開催等による情報発信		
	聖徳太子関連イベント等による情報発信		
奈良の歴史・文化に対する国際的 認知度向上に向けた取組の実施	奈良の仏像海外 展示の実施等	日本文化の紹介・文化遺産修復研修の実施	



聖徳太子シンポジウム(奈良市)



なら歴史芸術文化村(イメージ図)